



尿管結石

■ 病気の概要

尿管は腎臓から膀胱へ尿を運ぶ細い管です。ここに結石が詰まると尿の流れが止まり、腎機能が低下します。猫ではシュウ酸カルシウム結石が多く、両側が詰まると急性腎不全となります。早めの対処が腎機能の回復につながります。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・嘔吐（繰り返す）
- ・食欲不振・元気消失
- ・腰背部・脇腹を触られるのを嫌がる（腹痛）
- ・尿量の急激な減少（または無尿）
- ・水をよく飲む
- ・血尿

■ どんな検査をするの？

- ・腹部超音波検査（腎臓の腫大・結石の確認）
- ・レントゲン検査
- ・CT 検査（結石の位置・腎臓へのダメージを評価）：専門施設をご紹介します
- ・血液検査（腎機能）
- ・尿検査

■ 治療方法

内科治療

- ・結石の種類によっては食事療法（専用療法食）
- ・点滴による腎機能サポート
- ・疼痛管理（痛みを和らげる治療）

外科治療

- ・外科的尿管切開術（結石摘出）
- ・皮下尿管バイパス（SUB）が必要な場合は専門施設をご紹介します
- ・腎臓摘出（腎機能が完全に失われた場合）

■ ご家庭で気をつけること

- ・ ウェットフード中心の食事水分摂取を増やす
- ・ 流水式給水器の活用
- ・ 再発予防用の療法食の継続
- ・ 定期的な超音波検査で再発を早期に確認する

■ よくある質問

Q. どんな治療が必要ですか？

A. どのくらい詰まっているのか、腎臓の状態により異なります。完全に詰まっている場合は緊急の対処が必要です。

Q. 手術後に腎機能は戻りますか？

A. 早くに詰まりを取ることができた場合、腎機能が回復することがあります。発見が遅れるほど回復が難しくなります。

Q. 再発しますか？

A. 再発しやすい病気です。食事療法と定期検査が重要です。

■ なつ動物病院での診療について

腹部エコーで状態を評価し、必要な処置をご案内します。CT 撮影や専門的な手術が必要な場合は専門施設をご紹介します。「嘔吐が続く」「おしっこが少ない」場合はお早めにご来院ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください